

# 武蔵野クリーンセンター発生エネルギー利用状況について (現施設利用状況及び新施設の利用(案))

## 現クリーンセンター発生エネルギー利用状況

現クリーンセンター発生エネルギーは蒸気である。蒸気を周辺公共施設へ供給し、熱源利用しています。  
蒸気供給先 市本庁舎・総合体育館(クラブハウス含む)・市営温水プール・第四中温水プール

### 武蔵野クリーンセンター

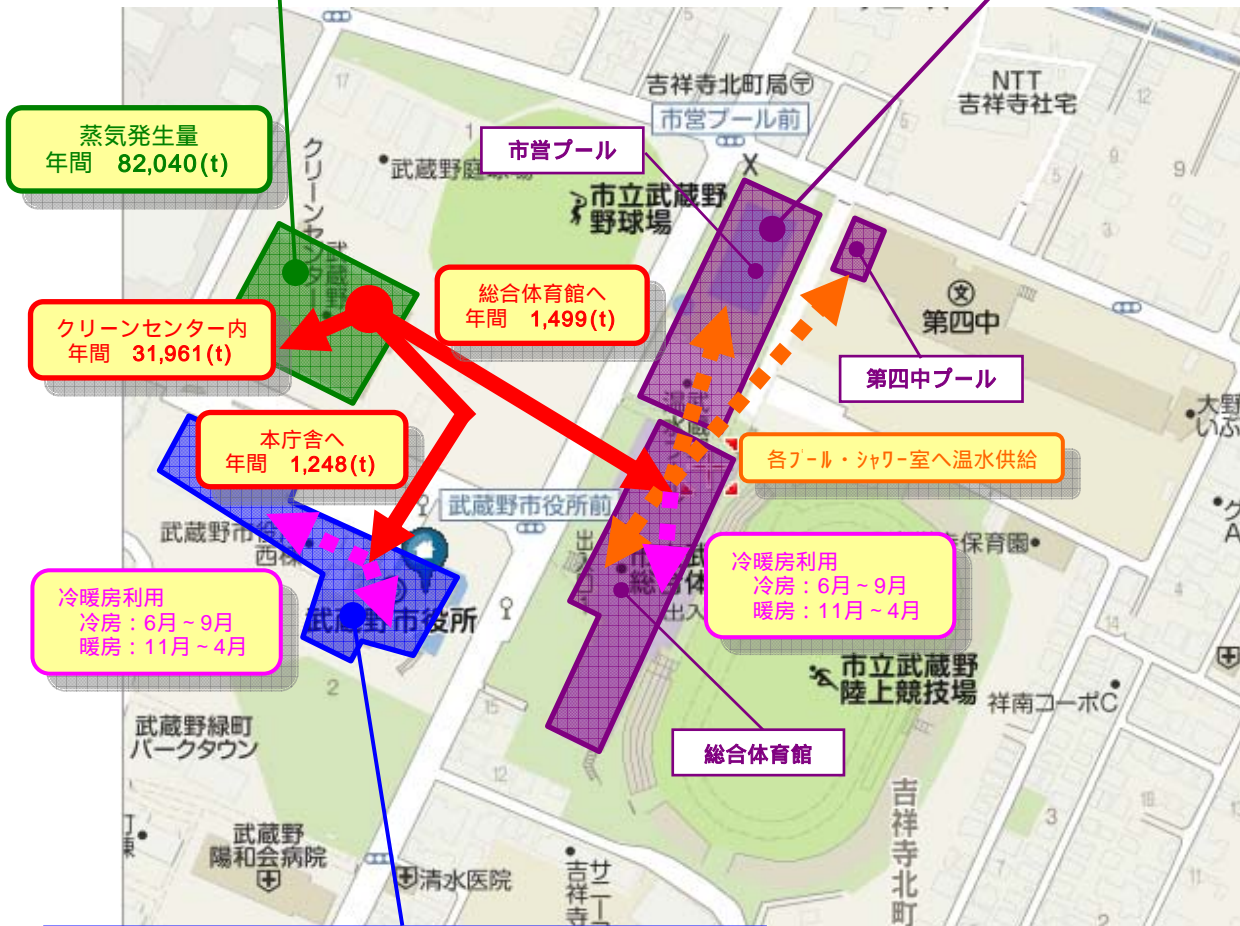
下記データは、平成21年度実績による  
年間蒸気発生量 82,040(t/年)  
施設内蒸気利用量 31,961(t/年)  
余熱利用されていない蒸気利用量 47,332(t/年)

施設内蒸気利用項目  
プラント機器(白煙防止用装置ほか)  
場内給湯利用(風呂等の温水)  
場内冷暖房利用(冷房・暖房)

### 総合体育館(市営温水プール・第四中温水プール含む)

下記データは、平成21年度実績による  
総合体育館 年間クリーンセンター-蒸気使用量 486(t/年)  
温水プール 年間クリーンセンター-蒸気使用量 1,013(t/年)

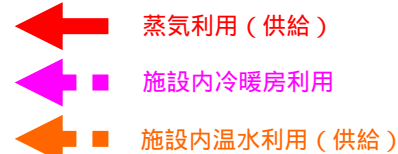
総合体育館内蒸気利用項目  
総合体育館 冷暖房・シャワー室利用(シャワー温水)  
市営プール プール加温・シャワー室利用(シャワー温水)  
第四中プール プール加温利用



### 武蔵野市本庁舎

下記データは、平成21年度実績による  
年間クリーンセンター蒸気使用量 1,248(t/年)

本庁内蒸気利用項目  
庁内給湯利用(風呂のみ)  
庁内冷暖房利用(冷房・暖房)



## 新クリーンセンター発生エネルギー利用(案)

新クリーンセンター発生エネルギーは、蒸気である。蒸気にてタービン・発電機を稼働して、電力を発生させます。(発電を主として行う為、本庁舎等へ蒸気供給はしないもので検討)  
発電電力は、新クリーンセンターの施設内電力で利用し、余剰電力については下記に示す内容を案とし、今後検討していきます。

「余剰電力検討(案)」  
電力会社へ売電を行う 市本庁舎及び総合体育館等近隣公共施設へ電力供給を行う

### (想定)新クリーンセンター

年間発電電力量 約14,600(Mwh/年)  
年間施設内利用電力量 約5,500(Mwh/年)  
余剰電力量 約9,100(Mwh/年)

年間発電電力量想定条件(乾式処理、白煙防止なし)  
・発電電力量は、2炉運転時 約2500kw 1炉運転時 約800kw  
・年間電力使用量は、現施設の実績を採用



### 武蔵野市本庁舎

下記データは、平成21年度実績による  
年間契約電力 1,350(kw)  
年間電力使用量 約2,846(Mwh/年)

### 総合体育館(市営温水プール・第四中温水プール含む)

下記データは、平成21年度実績による  
年間契約電力 680(kw)  
年間電力使用量 約2,427(Mwh/年)

